



横浜市立田奈小学校

平成27年10月30日

学校だより 11月号



みのたなくん

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>

校長 二瓶 光代
Tel 045-981-0009

子ども達の学びを支える風土

校長 二瓶 光代

田奈っ子水田での脱穀が雨で延期となったため、10月21日の午前は、保護者の方のわら草履作り講習会と5年生の脱穀がほぼ同じ時間に行われることとなりました。講習会は、これから5,6年生が実際に取り組む草履作りを支援するためのものです。今年も有難いことにたくさんの保護者の方が、参加してくださいました。3年連続参加して下さっている方もいました。これまで永年にわたりわら草履作りをけん引して下さっている卒業生保護者の方々も、「この活動が末永く続いていくためには、支援する側の世代交代がスムーズに進んでいくことが必要だ。」と考え、顔を出してくださいました。会は、真剣にそして和やかに進んでいきました。

脱穀が始まる時刻が近づき、子どもたちが設置したかかしの一部が、周りの田んぼに飛んで迷惑をかけていないか気にしながら水田に向かうと、例年通りの立派な脱穀機の他に、今年は木と竹で作られた大きな道具が置かれていることに気が付きました。それは、地域の方が、昔の脱穀機（千把扱き）の構造を調べ、再現して下さったものだったのです。米粒を稲穂から取り離す部分は、竹に鋭く切れ目が入れてありました。竹を斜めに削ることは、大変難しかったのではないかと思います。この特製千把扱きも使うことで、子ども達は、米粒を取り離す感触を味わい、先人の苦労を考えるとというように学びを深めることができました。

脱穀が終わり学校に戻ると、講習会を終えた保護者の方々とお会いすることができました。何人もの方が、わらの入った大きなビニール袋を持っていました。「家で練習するためのわらを持って帰ります。」

とのことでした。保護者の方々の学ぶ姿が、千把扱きを作ってく下さった地域の方や講習会を応援するために駆けつけて下さった卒業生保護者の方々の姿と重なりました。保護者・地域の方自ら問題意識を持ち、主体的に追究する田奈の風土を実感しました。田奈小学校では、各学級で学校教育目標「知」（自ら問題意識を持ち主体的に追究する子）の育成に取り組んでいるところですが、自ら学んでいる方々が身近にいることは、子ども達にとってとてもよい教育環境となっていると思います。